

ぎかい TIMES

令和6年9月1日発行 No.74



CONTENTS

旭市子ども議会…2 6月定例会 議案審議…5 常任委員会審査Q&A…6 審議結果一覧…7 市政を問う！ 一般質問…8

次代を担う若い声を市政に！

令和6年度

旭市子ども議会

7月29日に令和6年度子ども議会が開催されました。一般質問を行ったのは、市内小・中学校20校から選ばれた20名の子ども議員で、議場で行われる定例会本番さながらの一般質問の模擬体験をしました。議事進行役は旭市議会の飯嶋正利議長が務め、市長をはじめ各課長が質問に対して答弁にあたりました。



雑草による環境問題について

僕の通学路には、道のわきが雑草でおおわれている場所が何か所もあり、交通事故や、この時期はマダニも心配です。年に2回のゴミゼロ運動で雑草を取る活動を加えるというのはいかがでしょうか。

環境課長

ゴミゼロ運動に草刈りを加えるのは、ごみと草を一緒に回収することが困難なため難しいが、地区やボランティア団体の方が公園等の草刈りをした場合、区長さん等からの連絡で、その都度草の回収をしています。

ガードレール設置の取り組みについて

ガードレールは事故から歩行者を守る等、生活を安全にしてくれるものだと思います。市のガードレールの設置予算はいくらで、どこへ設置する予定でしょうか。現時点での取り組みと今後の予定を伺います。

建設課長

令和6年度のガードレールの予算については、人が水路へ落ちるのを防止するために設ける柵の設置予算として、484万円を計上し、東総工業高校西側の水路沿いに約220mを整備します。



将来のAI・ロボットの活用について

AIやロボットを活用することはいいことだと思いますが、仕事を取られてしまったり、「人の手でつくる」よさがなくなってしまうのではないかと考えました。市では将来どのようにAIやロボットを活用していこうと考えていますか。

企画政策課長

よりよい社会を維持していくためにも、人の手でなければできない仕事と、AIやロボットに任せられることができる仕事とをきちんと分担し、その上で効率的な活用を進めていくことが、とても重要だと考えています。



旭を日本一住みよいまちに

「日本一住みよいまちは旭市かもしれない」を実現させるために、公園の遊具増加を提案します。公園はいつもたくさんの子どもが家族と遊んでいます。しかし、子どもの数に対して、遊具が少ないと思います。

都市整備課長

公園では多くの子どもたちや家族が遊具で遊んだり、ジョギングをしたり、様々な方が様々な目的をもって利用しています。利用者の声を聴きながら、公園遊具の整備についても研究していきたいと考えています。



いとう ひまり
伊藤 妃麻里 議員
(共和小)

バスの利用をもっと身近に

わかりにくいバス停に屋根やベンチをつけることにより、バス停がわかりやすくなり、日よけ、雨よけ、風よけにもなり快適になると思います。バス停をもっとわかりやすく快適にし、たくさんの方が利用できるよう提案します。

企画政策課長

わかりにくいバス停へのベンチ等の設置については、利用人数はもちろん、道路の幅等の安全性の問題もありますので、そうしたことを踏まえたうえで検討していきたいと考えています。

小・中学校の再編について

学校再編説明会について、地域住民や保護者の方への説明会は開催されていますが、当事者である小・中学生への説明会を開催する予定はないのでしょうか。新しい学校づくりに僕たちもぜひ参加させてください。



たかはし あつと
高橋 篤人 議員
(矢指小)

教育総務課長

小・中学生への説明会やアンケート等については、各学校の先生方と相談していきたいと考えています。そういった機会の中で、質問や様々な意見をお伺いすることにより、新たな「発想」が期待できます。

観光施設・産業のPRについて

3月に銚子連絡道路が匝瑳市まで伸び、今後、移動がますます便利になると思いますが、旭市は知名度が低いので、銚子市にきた観光客が立ち寄りたくなるような観光地を道路沿いに建設することを提案します。



だんじょう りと
檀上 理斗 議員
(鶴巻小)

企画政策課長

銚子市へ向かう観光客を立ち寄らせる観光地を道路沿いに建設する予定は現在ありませんが、市では撮影隊を誘致したり、観光イベントや観光PR、旭市に関する情報発信等、積極的に行っています。

学校給食のプラスチックごみの削減

例えば、牛乳のストローを廃止したり、パンの袋をなくし食缶から配膳したり、ゼリーの容器を紙にしたり等です。こうすることで、プラスチックごみを削減できるだけでなく、環境問題について学ぶ機会になると思います。



いわい はつぎ
岩井 はづき 議員
(豊畑小)

教育総務課長

プラスチックごみの削減の提案はとても素晴らしいものです。市教育委員会でも、プラスチックごみの削減の提案に対してどのようなことができるか、引き続き考えていきたいと思っています。



なみかわ ゆずな
浪川 柚愛 議員
(鳴鳴小)

もっと良い旭市になるには

旭市に遊びに来た人たちがSNSで発信したくなるような遊びや映えスポットをつくる。例えば、自然を生かしたグランピング施設。そこで旭の食材を提供し、野菜の収穫体験等、自然を生かした体験を企画し、活気のある旭市になってほしいと思う。

商工観光課長

グランピング施設については、様々な市町村でオープンしているようです。旭市は、自然がいっぱいで美味しいものもたくさんあります。これからのまちづくりを進めていく中で、検討していきたいと思っています。

岩井地区の通学路の危険について

滝郷地域にはたくさんの危険な通学路があります。滝郷学園付近の坂は歩道がなく、交通量も多く大変危険です。そのため、道路の舗装や白線の追加等をする必要があるのではないかと思います。



はま あさひ
塙 朝陽 議員
(滝郷小)

建設課長

ご質問の道路は、坂の下側から舗装の修繕工事を始めたところですので、工事に併せてグリーベルトの設置を考えています。皆さんが安全に道路を通行できるよう、安全対策を進めていきたいと考えています。

学校の統廃合について

僕の通っている飯岡小学校がなくなってしまうことは寂しいし、利便性が悪くなってしまうのではないかと思います。そこで、学校の統廃合に関して、実施するメリットについて、わかりやすい説明をお願いします。



すこう はるき
菅生 治希 議員
(飯岡小)

教育総務課長

一番のメリットは友達が増えることだと思います。学校再編で友達が増え、友達と競い合ったり、学びあったりすることで豊かな人間性を身につけられるように教育環境を充実させていくことを第一に考えています。



はやし りせ
林 莉世 議員
(三川小)

屋内アスレチックの建設

市には雨天の際に室内で楽しめる施設がとても少ないです。少子化対策や大人の健康維持のために、天候に左右されずに遊んだり運動したりすることができる、屋内アスレチックの建設を検討していただけないでしょうか。

スポーツ振興課長

室内アスレチック等を建設する計画はありませんが、運動やスポーツをすることは重要であると考えています。市では、多くのスポーツイベントを実施し、健康の維持増進に役立てていただきたいと思います。



統合後の校舎の使い道について

萬歳地区は自然が豊かなため、都会疲れをしている人を呼び込むのにいいと思います。小さい子どもから大人まで楽しめ、泊まれる施設や憩いの場となる施設として活用すれば未来につなげられると思いました。

教育総務課長

活用方法については、学校再編の準備委員会や地域の皆さんとも話し合いを進め、伊藤議員やたくさんの人が仲を深め合って、楽しいと思ってもらえるような場所となることを目指して、考えていきたいと思っています。

伝統ある校舎を後世へつなげよう

廃校施設の再利用について、銚子市では地域の交流拠点として活用したり、レンタル施設として体育館等を貸し出しているとありました。廃校施設を地域交流の場として活用することを提案します。

教育総務課長

閉校後の使い道はまだ決まっていません。大根議員のアイデアも含めまして様々な活用例を調べて、地域の皆さんにも活用していただけるような施設となるよう、話し合いを進めていきます。



部活動の地域移行に向けての見通し

クラブチームとして活動し、大会に出場する場合、指導者には資格が必要になると思います。資格取得のための受験料等の費用や指導者への報酬について、市で補助していただけないでしょうか。



教育総務課長

市では顧問と同じように指導をしたり、引率できたりする「部活動指導員」を配置しています。補助については、予算との関連があることから、国や県、他市町村の状況を鑑みながら研究していきたいと考えます。



干潟地域小学校の統合に関わる疑問

萬歳小学区や中和小学区から古城小まで登校するのは遠くて大変だと思います。そのため、スクールバスの運行等があればいいと思いますが、現時点で、計画されていること等あれば教えてください。

教育総務課長

萬歳小学区や中和小学区から古城小に徒歩で登校するのは大変だと思いますので、スクールバスでの登下校を想定しています。今後、バスが何台必要で、どの道を走るか等について、具体的に検討していきます。



交通安全に関わる設備や補助

カーブミラーの凍結対策をお願いします。カーブミラーは、冬季に凍結して見えにくくなり、非常に危険な思いをした友達もいます。凍結に強い材質を使ったミラーにする等の対策をお願いします。

建設課長

曇りを防止する加工が施されたミラーもありますので、地域の方からの意見を参考にしながら、曇りやすい、凍結しやすい場所に設置されているミラーを、曇りにくいミラーへ交換していきます。

統廃合後の学校施設の利用について

学校には教室が多くあるため、その一室を使用することで、個人が経営できるお店や塾、撮影用のスタジオにも活用できるのではないかと考えています。市では学校跡地はどのように利用しようと考えていますか。



市長

鈴木議員の提案は豊かな発想で良いアイデアだと思います。学校は地域とともに歩んできた歴史もありますので、地域とのつながりやニーズ等も含めて、たくさんの活用の可能性を考えていきたいと思っています。

若い世代の認知症に対する理解

今後、増加する認知症について、私たち若い世代も共に学び理解する必要があります。そこで、交通安全教室等のように、小・中学校で認知症について学ぶ機会を市として確保していただくことはできないでしょうか。



高齢者福祉課長

認知症の方への理解を深めてもらうために、「認知症サポーター養成講座」を市内小・中学校においても開催しています。今後も全ての小・中学校で講座が開催できるよう、取り組みを進めていきます。



学校における「ラーケーション」導入

ラーケーションとは「ラーニング＝学習」と「バケーション＝休暇」を合わせた造語で、休暇を楽しみながら勉強もできるシステムです。年に3回取ることができ、家族で共通の時間がとれるよう提案します。

教育長

ラーケーションを導入することにより、平日に保護者等が子どもと一緒に学び、活動できるようになるとされています。効果や課題、すでに導入している市町村の状況を鑑みながら、研究していきたいと考えます。

6月
定例会

議 案 審 議

会期 6月6日～6月25日(20日間)

市長提出議案

- 予算案件 2件
- 条例案件 7件
- 人事案件 2件
- その他案件 1件

この定例会には、令和6年度一般会計補正予算、条例の一部改正、人事案件など12議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意・承認されました。

質疑と答弁の要旨の一部は次のとおりです。QRコードを読み取ると議案質疑の録画映像をご覧いただけます。



議案
第1号

令和6年度 旭市一般会計補正予算

今年度新たに住民税非課税世帯等 となる世帯に給付金を支給

令和6年度に新たに住民税非課税、または住民税均等割のみ課税となる世帯に対し、1世帯あたり10万円と、それらの世帯のうち、18歳以下の子どもを扶養している世帯に対し、子ども1人あたり5万円を給付する。

問 3つの給付金事業の積算根拠を伺う。

答 非課税世帯の対象は、住民税課税情報等を参考に、1600世帯と見込み、1億6000万円。均等割のみ課税世帯の対象も同様に450世帯と見込み、4500万円。子育て世帯加算分は、令和5年度住民税非課税世帯給付金及び均等割のみ課税世帯給付金の対象となった世帯で、子ども加算の対象となった子どもの人数割合を参考として260人と見込み、1300万円。

問 対象と思われる世帯に確認書を送付し、返信をもらって支給するが、過去には同様のやり方で漏れた方がいた。過去の支給実績を伺う。

答 令和5年度の事業実績で、非課税世帯の確認書対象が6388世帯で、6216世帯に給付、給付率は97・3%。

均等割のみ課税世帯の確認書対象が1270世帯で、1246世帯に給付、給付率は98・1%。子ども加算については、原則として手続不要で、加算給付を行うため、給付率はほぼ100%。確認書の送付後に、死亡する方や転出等の世帯の状況の変化等もあり、給付率は100%にはなっていない。

65歳以上の新型コロナウイルス 予防接種費用を助成

65歳以上の方と60歳から64歳の内部障害がある方について、予防接種が原則有料となることに伴い、予防接種促進を図るため、予防接種費用にかかる国の助成に加え、市独自に接種1回あたり2000円の助成を行う。

問 市独自の助成金を2000円とした根拠を伺う。

答 季節性インフルエンザ予防接種費用の助成額、近隣の状況、様々な助成の金額や接種率を試算し、決定した。

問 国が8300円の補助をするのに、なぜ市が補助金の上乗せをするのか。

答 新型コロナウイルス予防接種については定期的な予防接種ということになり、季節性インフルエンザと同等の予防接種として推進していく方針。義務ではないものの、65歳以上の方や重症化する方に対しては、重症化してはいけないということ、少しでも負担を軽減し推進していく。

議案
第5号

財産の取得について(水槽付消防ポンプ自動車(I-B型))

干潟分署で使用している同種車両を老朽化に伴い更新

問 市で所有しているポンプ車の台数は。また、運転できる大型免許を持っている人は消防署に何人いるのか。

答 今回導入する水槽付消防ポンプ自動車は、消防本部で4台配置している。各分署と本署に1台ずつ。また、水槽のないポンプ車が5台ある。これも各分署と本署に1台ずつと予備車が1台本署に置かれている。免許の保持状況は、令和5年4月1日現在で、消防職員の中で97名が大型免許を持っている。



常任委員会審査Q & A

議案や請願・陳情を分野別に各委員会に振り分け、専門的に審査をします。審査後は、賛成・反対を決め、本会議で報告します。質疑と答弁の要旨の一部は次のとおりです。詳しい内容を知りたい場合は9月中に掲載予定の会議録をご覧ください。



旭市議会
会議録検索システム

建設経済常任委員会

令和6年度旭市一般会計補正予算について(議案第1号)

Q 車両購入費830万3000円について、ホイールローダーの購入方法と車両のメンテナンス方法は。

A 車両の購入は一般競争入札で行う。また、メンテナンス方法は業者委託による自主点検を年1回行っている。

Q 今まで使用していた車両は下取りに出すことが可能なのか。

A これまで使用した車両は下取りに出す予定。

旭市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第4号)

Q 布設工事監督者を配置する工事の範囲は。

A 基本的に発注した工事全てに配置する。

Q 1人の布設工事監督者が複数の工事を監督することは可能なのか。

A 1人で複数の工事を担当することが可能。



蛇園南地区排水路整備事業現場

審査結果

委員会付託の3議案について、全員賛成で原案のとおり可決、承認。

文教福祉常任委員会

令和6年度旭市一般会計補正予算について(議案第1号)

Q 物価高騰対応重点支援給付金給付事業の解体・撤去工事2万円の内容は。

A 給付金の受付会場に仮設の電話機を設置しており、撤去する場合の工事費。

旭市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(議案第2号)

Q 旭市では、なぜ家庭的保育事業を実施していないのか。

A 旭市では待機児童は発生しておらず、今の体制で充足していると考えられる。また、事業者等からの申し出もないため。

旭市が設置する専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例の制定について(議案第3号)

Q 基本的な改定の理由は。また、旭市で、水道技術管理者に指定されている方の人数と資格の有効期限はあるのか伺う。

A 職員数の減少により技術者の確保が困難なこともあり、資格の緩和

という部分で、経験年数等であるべく多くの方に資格を取得してもらいたいとの意図がある。また、水道技術管理者は上下水道課に2名在籍しており、資格の有効期限はない。

審査結果

委員会付託の3議案について、全員賛成で原案のとおり可決。請願2件について、全員賛成で採択。

総務常任委員会

令和6年度旭市一般会計補正予算について(議案第1号)

Q 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金について、915人分とした根拠は。また、高齢者への周知方法は。

A 千葉県補助金要綱の規定では常住人口の1000人未満切り捨ての1.5%であるため、県に合わせて、市も6万1000人の1.5%で設定した。また、高齢者の周知については、老人クラブや高齢者福祉課と協力し、周知について検討していく。

専決処分の承認について(令和6年度旭市一般会計補正予算)(議案第8号)

Q 定額減税調整給付金給付事業の受付業務委託料2418万5000円について、委託先と委託内容は。

A 委託先は受付業務や人材派遣等を請負う会社で、キャリアリンク株式会社。委託内容は調整給付金対象者への案内文書の封入作業や返送された書類の審査業務、給付金の振込口座の入力作業、来庁者への窓口対応、コールセンター業務等を予定している。



消防本部で消防車両を視察

審査結果

委員会付託の6議案について、全員賛成で原案のとおり可決、承認。

令和6年第2回定例会 審議結果一覧

全員賛成で議決した議案等

- 議案1 令和6年度旭市一般会計補正予算の議決について
- 議案2 旭市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案3 旭市が設置する専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案4 旭市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案5 財産の取得について(水槽付消防ポンプ自動車(I-B型))
- 議案6 旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

- 議案7 旭市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて
- 議案8 専決処分の承認について(令和6年度旭市一般会計補正予算)
- 議案9 専決処分の承認について(旭市税条例の一部を改正する条例)
- 議案10 専決処分の承認について(旭市都市計画税条例の一部を改正する条例)
- 議案11 専決処分の承認について(旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
- 議案12 専決処分の承認について(旭市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)

- 発議1 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について
- 発議2 国における2025年度教育予算拡充に関する意見書の提出について
- 発議3 旭市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
- 発議4 旭市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

- 請願1 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願
- 請願2 「国における2025年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

市議会から国へ意見書を提出

請願第1号・第2号が採択されたことに伴う、発議第1号・第2号の可決により、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣に意見書を提出しました。

《意見書抜粋》

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

義務教育費国庫負担制度は、憲法上の要請として、教育の機会均等とその水準の維持向上を目指して、子どもたちの経済的、地理的な条件や居住地のいかんにかかわらず無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定水準の教育を確保するという国の責務を果たすものである。

政府の主導する三位一体の改革の中で、国家財政の悪化から同制度を見直し、その負担を地方に転嫁する意図のもとに、義務教育費国庫負担金の減額や制度そのものの廃止も検討された経緯がある。

地方財政においても厳しさが増している今、同制度の見直しは、義務教育の円滑な推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮される。また、同制度が廃止された場合、義務教育の水準に格差が生まれることは必至である。

よって、国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求める。

国における2025年度教育予算拡充に関する意見書

以下の項目を中心に、2025年度にむけての予算の充実をしていただきたい。

1. 災害からの教育復興にかかわる予算の拡充を十分にはかること
2. 少人数学級や小学校高学年専科を実現するため、公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること
3. 保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること
4. 現在の経済状況を鑑み、就学援助や奨学金事業にかかわる予算を更に拡充すること
5. 安心して学校生活を送れるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等相談体制を充実させるとともに多様な学びの場の充実を図り、誰もが学ぶことができる機会を保障すること
6. 安全・安心で個別最適な学びを実現する施設環境の整備にむけ、バリアフリー化や、洋式・多目的トイレ、空調設備設置等の公立学校施設整備費を充実すること
7. GIGAスクール構想の着実な推進と教育DXを加速化し、学校現場における校務の効率化や様々な課題に対応できる環境を整えること

市政を問う！

第2回定例会

一般質問

一般質問とは、本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。旭市のさまざまな課題などについて、市の考えを聞き、説明を求めます。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



人と組織の育成戦略について

問 市職員の定期的な人事異動があるが、今後多様化する行政への要望に応えるためにも、プロフェッショナルを育成する人事体制にすることはできないか。

答 一般行政職は特定の分野に限らず様々な部署に配属される。しかし、今後多様化する市民ニーズや社会情勢の変化等により、業務の専門性が高まることや、特定の事業等に高い専門性が求められる場合には、スペシャリストの養成も必要であると考えている。

問 悪質な苦情や要望等、カスハラに対応するマニュアル等はあるのか。

答 カスハラ対応マニュアルはないが、不当要求行為等防止マニュアル等を活用している。

問 他自治体では、カスハラ対策マニュアルの作成、カスハラ防止啓発ポスターの掲示、暴言等の予防を目的とした通話の録音を行っている。先進地に倣い、カ



常世田 正樹 議員



スハラ対策を進められないか。

答 対策マニュアルについては、不当要求行為等防止マニュアルを必要に応じて見直し、啓発ポスターの掲示についても、カスハラ

ハラの状況に応じて検討していく。ハラスメントは職員のみならず、市役所を訪れる方にも悪影響を与える社会問題である。今後、快適に働くことができる職場環境の整備や、市民の皆様が気持ちよく市役所を訪れることができるよう、適切な対応を実施していく。

飼い主がいない猫について

問 公園等に捨てられる子猫は減らすためには、飼い猫も野良猫も適正に管理していかねければならない。無料で不妊手術を受けられるチケットを発行している「公益財団法人どうぶつ基金」へ行政

枠で登録してほしい。本市の財政負担はなく利用することができる制度の上、手続きも容易である。

答 市外からの野良猫の流入等が懸念されることから、広域的に取り組んでいく必要がある。市内の個人やボランティア団体の活動状況等を注視し、登録については、近隣と足並みをそろえていくよう、調査研究していく。



井田 孝 議員



まちづくりについて

問 中央商店街の活性化に向け、市として何ができるのか今後の対応を伺う。

答 空き店舗活用事業という、市内の空き店舗の改装費や賃借料を補助する事業を行っている。また、商店街等施設及び景観整備事業補助金として、商店街の駐車場借り上げ料及び商店会等が実施する街路灯等の整備に対しても助成を行っている。

問 埼玉県北本市では、まちに愛着を持ち住み続けてもらうこと、多くの人がまちの活動に参加し、まちの活力を維持することとを目的に令和2年度から「屋外仮設マーケット事業」を行っており、令和4年全国広報コンクールにおいて内閣総理大臣賞を受賞した。本市においても、こうした取り組みを行うことはできないか。

答 市においては、今後も各種支援事業について継続して取り組んでいきたい。国や県の支

援対策等も商店街の方々に情報提供しながら、商店街のにぎわい創出、活性化につなげられるようバックアップしていきたい。

農水産業の振興について

問 転入者農業チャレンジ支援金は新規雇用就農者の家賃について、月額5万円を上限に最長3年間の支援金が支給される。

しかし、市外から来た方で、農業法人に勤め、この支援金を受給していた方が、市内の農家に嫁いで農業法人を辞めたら返還だと言われた。旭市の農家に嫁いでいるのに返還とはどういうことか。

答 支援金は市内に転入し、かつ農業に従事する新規雇用就農者に対し支給している。農業法人等を退職し農業以外の職業へ転職した場合は支給取消しとなり返還することになる。

問 離農して支給が終わるのは仕方がないとしても、市外から来て本市に住み続けてもらえている人に対して、返還というのは厳し過ぎるのではないか。

答 離農を許容すると労働力確保を目的とした支援となり、ほかの産業の雇用対策とのバランスが取れなくなるので、ご理解を願いたい。

市内の事故再発防止策について

問 3月に起こった本市公園内での溺水事故を受け、市としてどのような対応をしたか。

答 公共施設200か所を緊急点検。関係各課において今後の安全対策について改めて情報共有を行った。

問 情報共有をするためには詳しい事故情報の収集が必要だが、事故対応に関与した警察・消防・医療機関等との情報連携は十分なのか。

答 関係機関相互において詳しい事故状況等については、個人情報を含む情報は秘密性が高いことから共有が難しい状態。

子どもの意見表明権について

問 こども基本法成立を受け、施策への子どもの意見反映をどのように取り組んでいくのか。

答 これまで実施してきた市民との対話集会や子ども議会、各種計画策定のためのアンケート

調査での意見聴取のほか、子どもが意見を伝えやすい環境をつくり、意見をまちづくりの施策等に反映させるよう取り組んでいきたい。

問 学校の校則については、子どもたちが主体的・積極的に意見を上げ、見直す取り組みの強化が必要。今後、校則見直しのガイドラインを作成する考えは。

答 校則に対する児童・生徒、保護者の意見聴取の方法も含め、校則見直しの在り方を考えながら取り組んでいる。ガイドライン作成については、小・中学校の状況を勘案して判断していく。

女性管理職割合の向上のために

問 女性職員のキャリアアップ支援が充実している先進事例もある中で、女性管理職を増やすための支援、保育士や保健師等女性の多い職からの積極的な管理職登用についてどう考えるか。

答 本年4月策定の第3次特定事業主行動計画において、女性が管理職に就きたいと思える職場環境の整備、機運を醸成するための研修会を開催するとしている。今後働き方の多様化も見込まれるため、女性が活躍できるような幅広い視野を持った人材登用について研究したい。



島田 恒 議員



空き公共施設等の活用について

問 小・中学校統合後の空き校舎と跡地利用について、統合と並行して検討を進めるべきと考えるが、本市の見解を伺う。

答 学校跡地の利活用については、今後設置する学校再編準備委員会において、学校再編と並行して検討していきたい。

問 跡地利用を効果的に進めていくため、跡地活用基本計画や活用にあたっての条例等を策定する考えはあるか。

答 地域の意見を優先しつつ、市の基本となる考え方や検討体制も明らかにする必要がある。関係部署と連携しながら基本方針等の策定について検討したい。

問 地域意見を拾い上げるのは当然の話だが、地域以外の外部事業者等による跡地利用の参画について、市としてはどのように考えているのか。

答 近隣市町では、サウンディング調査を行った上でプロ

ポーザル方式にて民間事業者等へ公募を行うケースも見られる。地域の意見を踏まえて必要となれば、文部科学省の「みんなの廃校プロジェクト」等に情報を掲載し、事業者への周知を図りたい。

※サウンディング調査：解説は16ページ。

耕作放棄地の対策について

問 耕作放棄地の解消に向けた助成措置は、本市独自の助成措置はあるのか。

答 助成措置としては、国や県等の補助事業として多面的機能支払交付金を活用した地域ぐるみの保全活動を支援する事業や、農地中間管理機構による遊休農地解消緊急対策事業がある。市独自の助成措置としては、10a当たり10万円を補助する耕作放棄地再生事業補助金がある。

問 耕作放棄地を解消しながら飼料作物を栽培する等、畜産農家や水田農家と効果的な耕作連携の取り組みをさらに進めることはできないか。

答 牧草や青刈りトウモロコシ等の飼料作物は、条件の悪い圃場でも比較的取り組みやすいことから、耕作連携と飼料作物の普及啓発を図り、耕作放棄地の発生防止や解消につなげていきたい。

災害時の対応について

問 災害時の応援協定を結んでいる団体との情報共有の方法について伺う。

答 災害協定を締結している団体は50件。団体からの支援についてはプッシュ型ではなく、市から、その都度、各団体に必要物資や必要数量等を要請することとなっている。

問 身体の不自由な方も安心して使用できるトイレトレーの導入はできないか。

答 避難所となる施設の多くに多目的や身体の不自由な方が使用することができるといれを設置している中で、導入については調査研究していく。また、広域的な利用も考えられることから、県として導入してもらえるように要望していきたいと考えている。

電話de詐欺対策について

問 様々な詐欺が横行しているが、注意喚起が届きにくい



伊藤 春美 議員



高齢者に対して、どのような情報伝達をしているのか、現状の取り組みと今後の対策について伺う。

答 市では消費生活センターを設置し、悪質商法や契約トラブル等、様々な相談を受け付けている。また、トラブルを未然に防ぐため毎月の広報15日号に事例や対応策を掲載している。

問 犯人は自分の声を録音されることを警戒するので、通話録音機能を活用することは被害防止につながる。県でも予算化されている留守番電話機能のない固定電話用の簡易型自動録音機を希望する高齢者に配付できないか。

答 現在のところ簡易型自動録音機の無料配付の予定はないが、今後の被害状況等を見ながら、調査研究していきたい。

高齢者や難聴者への窓口対応について

問 庁舎窓口で声が聞こえづらい市民に対し、軟骨伝導イヤホンを導入し、市民サービスの向上を図る考えはあるか。

答 新たな技術による製品であることから、既に導入している自治体の窓口での利用効果についての情報収集を図る等して、検討していきたい。



永井 孝佳 議員



いいおかみなと公園エリアの有効活用について

問 みなと公園でイベントを実施するための要件は。

答 管理者である千葉県の許可が必要。許可の要件としては、県や市等が、直接実施するものや共催または後援を行っているものと聞いている。



いいおかみなと公園で開催された「竜王まつり」

問 市の後援の要件は非常に厳しい。まちを盛り上げる活

動を市民が自主的にやる場合に、後援を取りやすいよう要件を緩和する事はできないか。

答 要綱の中に「市長が認めた団体」があるので、設置目的や活動内容、構成員等の状況を精査した上で案件ごとに判断する。

福祉の充実について

問 身体が不自由で髪を切りにいけない人のために訪問理美容がある。訪問理美容に補助をしている自治体はあるか、県内の状況を伺う。

答 23自治体で補助を実施している。補助の内容としては出張費用の一部または全部を補助するもの、散髪料金の一部を補助する等様々である。

問 本市でも訪問理美容の補助を検討できないか。

答 訪問理美容の補助制度については導入の予定はないが、在宅支援の一環として、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、市としてどのような方法が望ましいか検討していきたいと考えている。

その他の質問事項

- 廃校利用について
- 外国人観光客の誘致について

本市の財政状況に関して

問 本市のお金の使い方について、1人でも多くの市民に賛同してもらえようない方が重要であるが、市民の声をどのように判断しているのか。

答 市民の声を実現することは行政の基本だと考えている。市民の声、市民の声を代弁する議員の発言等、意見や要望等を可能な限り把握し、地域のバランスや行政分野を総合的に考え、事業を実施していくことが大切だと考えている。また、寄せられた意見や要望だけでなく、サイレントマジョリティ、多くの市民の声なき声もしっかり把握し、適正な財政運営に努めたい。

問 財政に関する資料は専門用語が多くわかりにくい。そこで行政用語を極力控えて、カラーイラストや図表、漫画を多用した、中学生でも理解できる財政冊子を作成し、活用する取り組みを提案する。

答 財政に関する資料は専門用語が多くわかりにくい。そこで行政用語を極力控えて、カラーイラストや図表、漫画を多用した、中学生でも理解できる財政冊子を作成し、活用する取り組みを提案する。

答 広報で家計に例えた形で表現する等、これまで分かりやすい公表に努めてきた。今後は、他団体のよい事例を参考にしながら、本市の将来を担う子どもたちにも分かりやすく公表できるように努めていきたい。ご提言に感謝する。

ふるさと納税に関して

問 ふるさと納税による寄附金は恒久的な財源ではないが、思い切った投資ができ、後世に評価される未来のための使い方が望ましいと考えている。市も、このふるさと納税を利用し、少子化対策や子育てにフォーカスした画期的な企画を打ち出すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答 ふるさと応援寄附金については「教育の充実」と「市長におまかせ」を合わせると、令和4年度、5年度ともに、7割から8割の寄附額をいただいている。こうした状況を踏まえ、寄附金については、寄附者の気持ちを大切にしながら、今後も教育の充実はもとより、少子化対策や子育て支援といった分野にも活用させていただきたいと考えている。

その他の質問事項

- 森林環境譲与税に関して



宮内 保 議員



移住・定住及び地域振興の推進について

問 本市の地域おこし協力隊の現状と活動内容は。

答 現在1名に地域おこし協力隊を委嘱し、移住希望者からの相談対応や、市内を案内するツアーの実施、移住される方、された方のサポート等を行っている。また、移住者を呼び込むための移住相談会への参加や開催、SNSを使つてのPR等も行っている。

問 他市では就農希望者を地域おこし協力隊員として委嘱し、経営や技術を学びながら農家研修をする仕組みを整えており、隊員の就農に結び付けている。本市においても、このような取り組みはできないか伺う。

答 地域おこし協力隊の制度の目的は、協力隊が本市において地域協力活動を行いながら、最終的に本市に定住してもらうもの。協力隊を受け入れる体制、任期終了後に定住に結びつくようなサポート体制の整備も必要と考え

る。関係部署や関係機関等と具体的な協議、検討を行いながら取り組んでいきたい。

農業の振興について

問 令和7年3月までに策定が義務付けられた「地域計画」について、進捗状況を伺う。

答 現在、海上地域の3つの小学校区で農業関係者の話し合いの場を設け、現況地図により1筆ごとに耕作者や土地の所有者の方々と調整を行い「目標地図」を作成している。残りの小学校区については、順次話し合いの場を設け、来年3月末までに公表する予定。

問 「目標地図」の作成に向けては、まず農地の受け手となる認定農業者や担い手の意向をしっかりと把握することが肝要。耕作放棄地や条件の悪い小さな畑や田んぼ等は誰が農地を引き受けて耕作するのか。

答 耕作放棄地や条件の悪い農地等については、地域計画策定に向けた農業者との話し合いの中で、農地を引き受けてくれる耕作者等について調整していきたいと考えている。

その他の質問事項

- 空き家対策について
- 水産業の振興について

生涯活躍のまち・あさひ形成事業について

問 ホームページに中心市街地との連携イメージとして、イオンタウンが繁栄すれば、旭駅の中心市街地も繁栄するというような事が載っている。おひさまテラスをこれから30年使っていくとして、40億円ぐらいのお金をここに投入する。これはどうなのか。

答 事業者グループが一般社団法人みらいあさひを設立した。「生涯活躍のまち」の部分が繁栄してくれば、その流れを旭駅周辺のほうにも持っていくという活動を、今している。

問 おひさまテラスの利用状況について、市長の報告では令和5年度は約18万人とのことだが、正確な利用状況を伺う。

答 令和5年度は、18万2237人が訪れた。いろいろなイベントや講座を行っており、令和5年度は合計137回実施、3807人の参加があった。

問 18万人を365日で割ると、1日約500人。2階のおひさまテラスに、休みもあるが毎日500人も来ていたのか。

答 利用者数については、おひさまテラスだけをカウント。入口の顔認証でだいたいの年齢と性別をカウントしている。あくまでも、施設に入ってきた人数。

都市計画区域の拡大について

問 都市計画区域を旧3町へ拡大し、建ぺい率等により、建て替えができなくなった場合、市は支援策等の補助をするのか。

答 援助等は今のところ考えていないが、個別の相談が適切ではないかと考えている。例えば建ぺい率では20坪の家を20坪のまま建て替えるのが難しいだけであつて、少し減らして18坪になれば建つ。セットバックについても家を建てる位置等について、個別に相談に応じる。

問 都市計画税の課税の有無を事前に知らせるべきだ。

答 現在のところ、まだ方針が定まっていない。区域の見直しと併せて課税区域等を研究中方針が定まったら、周知していく。

その他の質問事項
○ 学校再編計画について



松木源太郎 議員





伊藤 房代 議員



熱中症対策について

問 熱中症警戒アラート等が発表されたとき、クーリング

シエルト（冷房が効いた部屋を開放し、暑さをしのぐ施設はあるのか。

答 クーリングシエルトとしての指定はないが、公共施設の共用スペースを開放している。

施設利用者の妨げにならない範囲で、涼みどころとして、利用していただければと思っている。

問 公共施設に冷水機の設置はできないか。

答 現在のところ公共施設に新たな冷水機を設置する予定はない。冷房が効いている建物内は熱中症のリスクが低く、施設に設置されている自動販売機等を利用していただければと考えている。

道路の安全対策について

問 ローソン海上後草店の交差点から北に向かい、踏切ま

での間の道路について、ぜひ道路の安全対策の見直しができないか。

答 学校関係者や警察等も参加する通学路合同点検において、引き続き検討していきたい。

問 駒込橋の欄干の改修工事はできないか。

答 昨年度欄干の一部について補修工事を実施した。改修

工事については、現在実施に向けて駒込堰を所有する関東農政局等の関係機関と協議を進めている。

早急に改修工事を実施できるよう、引き続き協議を進めていきたい。

自転車ヘルメット着用率向上について

問 自転車ヘルメット購入費に補助はできないか。

答 補助については、本議会で補正予算に計上している。

補助は1個当たり2000円を上限とし、購入金額が2000円以下の場合には全額補助する。8月頃

から受付を開始し、申請期間は令和7年2月末日までを予定している。今年の4月1日以降に購入したものが補助対象になるので、既に購入した方や近いうちに購入する方は、領収書や保証書等を保管

しておいていただきたい。

その他の質問事項

○物価高騰対策について

○AEDについて

○子育て支援について

旭の「食」の充実について

問 食育活動表彰では農家個人の活動として、学校給食への

食材提供をはじめ地域の子ども

たちに地元の農産物を食べてもらい、農業の魅力を知ってもらう地

道な活動を30年以上続ける千葉県の農家が入賞。農家だからできる

取り組みとして評価された。学校給食は日本の食生活、食習慣の基

礎となる。給食による食教育が人々の心身ともに健康に与える影

響は大変大きい。こういう人たちが、どういう気持ちでこのまちの

子どもの給食に関わるかが大変重要。旭独自の取り組みを伺う。

答 千葉県食肉公社と開発した豚レバーを使用した「鉄人

給食」を毎月提供している。この取り組みは、令和5年に千葉県循環型社会形成推進功労者として、

県知事より感謝状を頂いている。**問** 東日本大震災で被害をこう

むった旭、この旭で産業として備蓄食料、保存食料として取

り組んでいるところがあるか。防災だけでなく、ふるさと納税返礼

品、フードロス対策ともつながる産業として重要だと思うが、旭に

あるか把握しているか。

答 旭市産の農水産物を使った備蓄食料等を製造している

業者については把握していない。**問** 市全体の食育とフードロス

対策の実施状況を伺う。**答** 妊婦や乳児の保護者を対象とした両親学級、離乳食教

室や40歳以上の方を対象としたヘルシー料理教室等で食生活に関する知識の普及に努めている。

旭の防災と災害対応について

問 3月議会で旭の住宅の耐震化予算が能登地震の後見直

されなかったことが明らかになっ

た。また、同様に能登地震後の旭市の避難訓練参加者があまりにも

少なかった。大震災を経験したまちなのにこの避難訓練の状況でいいのか、市の避難訓練を検証してほしい。避難所の現状を伺う。

答 指定避難所は旭地域に10か所、海上地域に6か所、飯

岡地域に5か所、干潟地域に7か所、合計で28か所。

その他の質問事項

○旭の観光の振興について



伊場 哲也 議員



人口戦略会議の「消滅可能性自治体」の分析結果の公表について

問 県内22市町が「消滅可能性自治体」に該当するとして人口戦略会議の結果を市長はどう受け止めたのか率直な考えを伺う。

※消滅可能性自治体…解説は16ページ。

答 本市は近隣の中で唯一「消滅可能性自治体」に該当せず、厚労省から発表された合計特殊出生率も1・31で県北東部では最も高い数値。公表結果については素直に受け止め、これまでのまちづくりが方向性として間違っていないかったという励みとし、引き続き少子化対策や子育て支援等の各種施策に取り組んでいきたい。

旭市総合戦略の取り組みについて

問 子育てプロジェクト16事業のこれまでの成果を伺う。

答 総合戦略の点検・評価のため毎年作成している重点施策マネジメントシートに基づき、令和4年度実績で回答する。合計

特殊出生率は、基準値1・43に対し実績は1・30、県の平均を上回り、全国平均と同じ率。出生数は、基準値396人に対し実績は334人、基準値を10%以上回った。

子ども・子育て支援事業計画について

問 次期計画に新たな支援策として取り入れようとしている事業はあるのか伺う。

答 これから実施する各課とのヒアリングで、具体的な対策、施策について検討していく。

問 子育て支援に関するアンケート調査の報告書を次期計画にどう生かそうとしているのか。

答 皆様の要望が表れていると思うので、関係各課と協議しながらどのような施策を計画に盛り込んでいけるのか検討したい。

多世代交流施設「おひさまハウス」について

問 中高生が利用するにあたり工夫した点を伺う。

答 夏季休業中は自由研究や趣味に利用可能な施設の利用料金を半額にし、受験期間中は学習スペースとして一部施設を無料にする等の取り組みを実施した。

その他の質問事項

○旭市合併20周年を迎えることについて。

一般質問の内容をもっと知りたい方は

▶▶ QRコードからアクセス！

一般質問の内容をもっと知りたいという方は、スマートフォンやタブレット端末で質問議員のQRコードを読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。

※動画の再生には大量のデータ通信を行うため、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。



旭市議会インターネット中継

トップ > 生中継 > 会議名 > 議員名

録画配信

※会議の録画映像をご覧ください。



令和6年第2回定例会
6月13日 本会議 一般質問
常世田 正樹 議員

1 行政改革アクションプランにおける人と組織の育成戦略について
(1) 市職員の定期的な人事異動があるが、今後多様化する行政への要請に応えるためにもプロフェッショナルを育成する人事体制にすることはできないか。
(2) 市職員は、日々、市民と向かい合い、寄り添う就労環境にあるが、恵まれた環境や要望等から職員を守

茅野市議会議員と姉妹都市交流を実施

茅野市とは海と山の自然都市間で、市民、各種団体、産業経済、教育文化の交流を図ることや都市行政の相互研究を行うこと等を基本として、旧旭市が昭和49年12月3日に姉妹都市提携を結び、4年に1度お互いの市を訪ね、交流を深めている。

今年度は旭市議会から正副議長と議会運営委員会の委員が茅野市を訪問し、北ハケ岳坪庭(溶岩自然園)を視察後、茅野市役所8階大ホールにおいて、茅野市議会議員との交流会を行った。

交流会では「議会活性化の取り組みについて」をテーマにお互いの議会の状況や課題等を共有し、取り組み事例やこれからの議会について話し合い、活発な意見交換を行うことができた。

その後、茅野駅前の複合施設ベルビア2階のワークラボハケ岳を視察し、施設の概要説明を受け、施設内見学を行った。

姉妹都市としてますます友好が深まったと同時に、さまざまな意見交換をすることができ、姉妹都市交流は非常に実りある交流の場となった。

ここを視察してきました！

- 北ハケ岳坪庭(溶岩自然園)
- ワークラボハケ岳
- 神長官守矢史料館



茅野市議会の皆さんと交流会



ワークラボハケ岳を視察



神長官守矢史料館を視察

議会に係る手続等のオンライン化・デジタル化

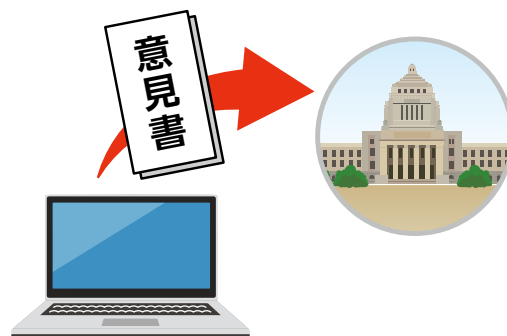
議会会議規則と委員会条例を改正

地方議会に係る手続きのオンライン化を可能とする規定が含まれた、地方自治法の一部を改正する法律が令和5年5月8日に公布され、令和6年4月1日から施行された。しかし、法改正によりオンライン化が可能となった手続きでも、会議規則や委員会条例により書面等が要求されている場合があったことから、全国市議会議長会の検討会議において、標準市議会議事規則及び標準市議会委員会条例の改正が検討され、令和6年2月8日に全国市議会議長会理事会で承認された。

旭市議会においても標準会議規則等の改正を踏まえ、「旭市議会会議規則」及び「旭市議会委員会条例」の一部改正が議会運営委員会より発議され、原案のとおり可決された。

主な改正内容

- ◆議案の提出、請願(陳情)書の提出、意見書の提出等、従来は文書で行われていた手続きについて、インターネット等を活用したオンラインによる手続きで可能とする。
- ◆オンライン委員会の開催を可能とする。
- ◆常用漢字の変更に伴う字句及び現在の規定では運営上の支障となりえる条文を整理する。



意見書をオンラインで国へ提出することができる。



感染症の蔓延等により参集が困難な場合は、オンラインで委員会を開くことができる。

あさピーが解説

気になるあの用語



本紙で気になった
用語を解説するよ！

Q サウンディング調査ってな～に？

掲載は10ページ

A 事業発案段階や事業化段階に、事業内容等に関して、直接の対話により民間事業者の意見や新たな提案の把握等を行い、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした調査。

対象事業の検討の段階で広く対外的に情報提供することにより、当該事業への民間事業者の参入意欲の向上を期待するものである

また、地方公共団体の職員が自ら民間事業者とやり取りすることにより市場を肌感覚でつかむことができるという点でも有意義である。

Q 消滅可能性自治体ってな～に？

掲載は14ページ

A 民間の有識者でつくる「人口戦略会議」が「日本の地域別将来推計人口」に基づき、若年女性人口が減少する限り出生数は低下することから、若年女性人口が2020年から2050年までの30年間で50%以上減少する自治体を「消滅可能性自治体」と定義した。

分析の結果、全国1729自治体中744自治体が「消滅可能性自治体」に分類された。

みんな
分かったかな！



9

月定例会の予定 (9月3日～9月27日)

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3	4	5	6	7
		開会			議案質疑	
8	9	10	11	12	13	14
		一般質問	一般質問	一般質問 (予備日)	決算審査 特別委員会	
15	16	17	18	19	20	21
		決算審査 特別委員会	決算審査特別 委員会(予備日)	建設経済 常任委員会	文教福祉 常任委員会	
22	23	24	25	26	27	28
		総務 常任委員会			閉会	

いずれも10時から開催予定です。

日程は変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

永年勤続表彰

第100回全国市議会議長会の定期総会で、市議会議員として永く地方自治の伸展に貢献されたことに対し、次の3名が表彰されました。

議員在職
20年以上表彰



向後悦世議員

議員在職
10年以上表彰



宮内 保議員

議員在職
10年以上表彰



林 晴道議員

編集後記

この夏は恒例の旭市子ども議会が開催され、市内各校代表の子ども達から市政に関する関連な意見が出ました。

デンマークでは、例えば間違っても自分の意見が言えるかどうか、子ども達を評価する基準となっているそうです。日本では、なぜか正しいか正しくないかを気にして、自分の意見が言いづらい傾向があります。協調性を重んじる日本の良い部分である一方、今あるルールがみんなにとって最善でなくてもそのままになっていることが多いのではないのでしょうか。

変化の激しい時代に、「昔からこうだから」という理由では対応しきれないことが増えてきました。6月議会では、子どもの意見表明権について質問しましたが、子どもも大人も自分たちの意見が反映されていると実感できる市政を目指していきたいです。

(委員 崎山 華英)

旭市議会だより編集委員会

委員長 島田 恒

副委員長 常世田正樹

委員 崎山 華英
委員 戸村ひとみ